

交通安全熊本

県内の交通事故(令和7年11月30日現在)暫定

区分	発生件数	死者数	負傷者数
本年	2685	38	3288
昨年	2669	50	3288
増減	+16	-12	±0

交通安全協会だより

第597号

令和8年1月号発行

(一財)熊本県交通安全協会

【発行所】熊本県交通安全活動推進センター 電話:096-233-2110

熊本県交通安全協会

検索

<https://kumamoto-ankyo.jp>

アクセス2次元コード▶



年頭のごあいさつ

一般財団法人 熊本県交通安全協会

会長 與 縄 義 昭



明けましておめでとうございます。

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

また、旧年中は、当協会並びに各地区交通安全協会に対しまして、格別のご高配を賜り、誠にありがとうございました。

さて、昨年は、米国による相互関税の発令、大阪・関西万博の開催、米価の高騰による備蓄米の放出、統計開始以来最も暑い夏の到来、MLBにおける日本人選手の大活躍、日本初の女性首相の誕生など、様々な出来事がありました。

一方、交通情勢等に目を向けますと、県下の交通事故死者数が前年より減少しましたし、運転免許に関連する分野では、「マイナ免許証」、「運転免許手続きのWEB予約」及び「オンラインによる更新時講習」などが新たに導入されました。

このような中、当協会では、6月に「交通安全子供自転車熊本県大会」を開催し、小学生を対象に、自転車の安全走行に関する知識と技能を身に付けさせる活動を行いましたし、10月には「原付バイク安全運転スキルアップ講習会」を開催し、原付ビギナードライバーに重点を置いた交通事故防止のための体験型の講習を行いました。

また、新たな取り組みとして、春・秋2回の全国交通安全運動期間中、「同日・同時時間帯における県下交通安全協会の一斉交通安全キャンペーン」に参画した他、これまで同様、各季の各種交通安全運動への参加、交通安全資器材の貸出などの広報啓発活動及び交通安全に係る講習や指導者育成等の研修会を開催しますとともに、熊本県運転免許センターや県下各警察署の窓口等におきまして、運転免許関係業務等に從事させていただきました。

本年は、4月1日から、自転車の交通違反に反則通告制度(青切符)が導入されますので、これまで以上に、自転車利用者の交通ルールの遵守やマナーの向上に貢献できればと考えておりますし、交通事故の根絶に向けて、県、県警及び各地区交通安全協会を始めとする各種の機関や団体の皆様と一層の連携を図り、各種交通安全諸対策に取り組んで参る所存ですので、県民の皆様の変わらぬご理解、ご協力並びにお力添えのほど宜しくお願い申し上げます。

結びに、本年が、県民の皆様にとりまして、ご健康で幸多き一年になりますようお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

熊本中央地区交通安全協会会長
片桐 英彰

山鹿地区交通安全協会会長
牛島 健二

御船地区交通安全協会会長
池田 健吾

人吉地区交通安全協会会長
内谷 孝一

熊本南地区交通安全協会会長
角谷 安宣

菊池地区交通安全協会会長
出口 一生

山都地区交通安全協会会長
佐藤 今朝春

多良木地区交通安全協会会長
藤本 伸介

熊本東地区交通安全協会会長
早川 典宏

大津地区交通安全協会会長
外牧 祐史

宇城地区交通安全協会会長
須々美 哲

天草地区交通安全協会会長
田中 靖士

熊本北合志地区交通安全協会会長
田尻 一男

小国地区交通安全協会会長
渡邊 誠次

八代地区交通安全協会会長
三浦 賢治

上天草地区交通安全協会会長
中 直通

玉名地区交通安全協会会長
作本 幸男

阿蘇地区交通安全協会会長
浅久野 弘明

芦北地区交通安全協会会長
松下 義一

牛深地区交通安全協会会長
中村 富人

荒尾地区交通安全協会会長
山口 賢一

阿蘇南部地区交通安全協会会長
大塚 弘倫

水俣地区交通安全協会会長
君島 徳昭



年頭のごあいさつ

熊本県警察本部長

佐藤 昭一



謹んで新春の御挨拶を申し上げます。

県民の皆様には、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素から警察活動の各般に対し、御理解と御協力をいただくとともに、あらゆる機会を通じて、交通安全活動を推進していただいておりますことに対し、心から感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、8月10日未明から発生した豪雨では、県内各地で大きな被害を受けるとともに、依然として「電話で『お金』詐欺」やSNS型投資・ロマンス詐欺等の被害が後を絶たない状況にあるなど、県民の安全と安心を脅かす災害や犯罪の抑止対策が急務となった一年でありました。

昨年の交通情勢については、人身交通事故の発生件数は一昨年に比べて増加傾向で推移し、交通死亡事故についても、死者数は減少しましたが、幼児や小学生が被害者となる痛ましい交通死亡事故も発生するなど、大変厳しい一年となりました。

このような中、日本自動車連盟（JAF）の調査による「信号機のない横断歩道における一時停止率」では、本県は一昨年から2.6ポイント上昇した77.4%、一昨年に引き続き全国4位と、明るい兆しも見られたところです。

引き続き、悲惨な交通事故を1件でも減少させるべく、関係機関・団体の皆様と連携し、各種取組みを推進してまいります。さらに、自転車対策については、一昨年の11月から、酒気帯び運転が新たに罰則の対象とされ、自転車乗車中の携帯電話使用等、いわゆる「ながら運転」の罰則が強化されるとともに、本年4月1日から、16歳以上の者による自転車の一定の交通違反に対して、交通反則通告制度、いわゆる「青切符」が適用されるなど、自転車に関する罰則の新設や制度が見直されているところです。

特に、自転車に対する交通反則通告制度の導入については、高校生もその対象となり得ることから、保護者の方々を含め、教育機関をはじめとした関係機関と連携を図りながら、ヘルメット着用を含めた広報啓発と制度の事前周知を推進していくこととしております。

県警察としまして、県民の皆様が安全安心な熊本を実感できるよう、交通事故抑止対策をはじめとした各種治安対策に全力で取り組んでまいりますので、引き続き、皆様の御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。

最後になりましたが、本年が皆様にとりまして、素晴らしい一年となりますことを御祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。



事件・事故の緊急通報ダイヤル

110番通報は、事件・事故などが起きた場合に、
県民と警察をつなぐ**緊急の電話窓口**です。
110番 110番の正しい利用にご協力をお願いします！

1月10日は
「110番の日」

電話での
110番

「いつ」「どこで」「何があったか」などをお尋ねします。
住所や電柱番号、近くに見える店舗等を教えてください。



住所表示



電柱の管理番号



店舗やビル



※携帯のGPS情報に加えて、場所
特定のための情報が必要です。

このほか

バス停、踏切、公園名
交差点名等

アプリでの
110番

聴覚や発話に困難がある方等は「110番アプリ」
を利用して通報が出来ます。

アプリ110番

・ダウンロード方法は、右のQRコードから
詳細をご覧ください。



秋の全国交通安全運動期間中の 交通事故発生状況

本運動期間中の交通事故発生状況は、
死者数は前年と同じでしたが、発生件数
と負傷者数が前年を上回る結果となりました。
期間中の運動に御尽力頂きました
方々にお礼申し上げます。

期 間：令和7年9月21日(日)～30日(火)

発生件数：72件(前年比 +13件)

死 者：1人(前年比 ±0人)

負 傷 者：91人(前年比 +15人)



「交通事故死ゼロ」を願って、各地区交通安全協会等による 県下一斉交通安全キャンペーンを実施しました!

実施日 令和7年9月30日 午後4時～午後4時30分



2025年 原付バイク安全運転スキルアップ講習会



令和7年10月19日、熊本県運転免許センターにおいて、県二輪車安全運転推進委員会や県立矢部高校二輪車競技部の皆さんに御協力いただき、「2025年原付バイク安全運転スキルアップ講習会」を実施しました。今回は、熊本県内の高校(4校)の原付バイクで通学している高校生や原付免許は取得したものの運転に不安な方など39人を対象に、原付運転者の交通安全意識と安全運転技能の向上を図り、交通事故を防止するために開催したものです。受講者は、二輪車指導員の指導により、法規走行、技能走行等を行い各受講者に終了証を交付しました。



令和7年度 自転車安全教育指導員養成講習会



令和7年11月5日、熊本県運転免許センターにおいて、「自転車安全教育指導員養成講習会」を開催しました。この講習会は、当協会と県自転車安全教育推進委員会が、地域や職域における自転車の安全教育指導員の育成を目的に行ったもので、市町村役場の安全教育担当者や県下各地区の交通指導員など18人が受講しました。講習会では、本年4月から施行される「自転車の交通反則通告制度(青切符)」の講義、自転車の構造及び機能・点検整備の実務、交通安全教育講習員による安全教育の実際のほか、済生会熊本病院の講師を招き、AEDを使用した救急法も体験しました。

各地区交通安全協会の活動だより

玉 名



玉名警察署において、JAたまな様から贈られた「反射材付きエコバック」の贈呈式を開催

荒 尾



腹赤小学校前の横断歩道において、登校する生徒たちの誘導を実施

山 鹿



国道の通行車両をJA鹿本駐車場に誘導し、ドライバーに対しチラシや反射材を配布して、「前照灯の早め点灯」を呼びかけるキャンペーンを実施

菊 池



菊池農業高校正門前において、自転車で登校する生徒にチラシを配布し、自転車事故防止の呼びかけを実施

小 国



小国ドームにおいて、子供から大人まで楽しめる体験型の交通安全フェアを開催

阿 蘇



「ひのくにピカピカ運動」期間中、国道57号において、のぼり旗やハンドプレートを使って交通安全の呼びかけを実施

御 船



秋の全国交通安全運動期間中、御船高校書道部による「交通安全宣言」が行われ、御船町役場に宣言文を掲示

山 都



「ひのくにピカピカ運動」期間中、国道57号において、のぼり旗やハンドプレートを使って交通安全の呼びかけを実施

宇 城



イオンモール宇城において、「UKIうき交通安全・防災フェア」に参加

八 代



八代市内の保育園において、親子で「シートベルト衝撃体験」を取り入れた交通安全教室を実施

水 俣



津奈木支部では、白バイ隊員殉職慰霊碑前で、交通安全祈願を行うとともに国道3号沿いの除草作業を実施

人 吉



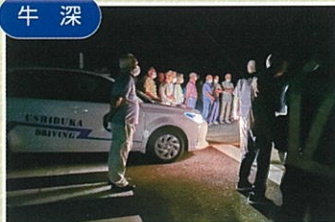
秋の全国交通安全運動期間中、地域の特産品である梨を「交通事故なし」にかけて交通安全チラシとともに配布

天 草



秋の全国交通安全運動期間中、各団体とともに交通安全を呼び掛ける合同キャンペーンを実施

牛 深



牛深自動車学校において、高齢者を対象に、夜間における視認性の実験などを取り入れた夜間体験交通安全講習会を実施



日本生命熊本支社様から「地域振興寄付金」が贈られました。

日本生命保険相互会社熊本支社様から、地域貢献活動の一環として15万8,350円の寄付金(同支社が行った「交通安全に関するアンケート」への回答1件につき10円の寄付)が贈られました。当協会では、同寄付金を基に、交通安全横断幕72枚(3種類)を作成し、県及び各地区交通安全協会の活動に活用することとしました。

